



## デジタル地球儀スフィアで 学ぼう環境・SDGs

これまで何度かご紹介してきた“**触って学べる**”デジタル地球儀スフィア。今回はスタッフのおススメの他、豊富なコンテンツの一部についてご紹介します。小学生から中学生、高校生、大学生のSDGs学習にも役立てることができます。是非お越しください。

### 200以上の豊富なコンテンツ！

地球上の過去から現在までのSDGsや環境、自然に関連した世界の変化を見られます。※以下は一部

#### スタッフのおすすめ

#### 他にも広がるラインナップ！

**SDGs持続可能な開発目標**

平均寿命や肥満人口の  
国別変化

2022

世界の平均寿命や肥満人口の変化を地球儀でリアルに確認できます。国ごとの差や変化から見える世界の現実を推察できます。

**地球百科**

宇宙のスケール感

国際宇宙ステーションISSの軌道や月、火星を表示し、宇宙の広がりや地球儀で体感しながら学べます。

**地球の現状と課題**

地球温暖化を防ぐ、  
未来への選択

2050

地球温暖化の進み方を、過去の気候変化や未来予測とあわせて地球儀で学べます。温暖化対策の大切さもわかります。

- ・女性議員数(世界の国別)
- ・経済成長率(世界の国別)
- ・ごみ排出量(世界の国別)
- ・大陸の移動と気候
- ・地球上の二酸化炭素量の変化
- ・エルニーニョとラニーニャの発生時期
- ・東日本大震災の地震による津波の様子
- ・マグロ回遊ルートの軌跡
- ・ハチクマ渡りコースの軌跡
- ・地球観測衛星「ひまわり」からのリアルタイム雲画像
- etc...

|                                          |                                                                                      |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 豊富な専門データ(一部抜粋)<br>データは様々な専門機関から提供されています。 | ・JAMSTEC(海洋研究開発機構) ・東北大学 災害科学国際研究所 ・IUCN(国際自然保護連合) ・WB(世界銀行) ・Earth Literacy program |
|                                          | ・国立環境研究所 ・国際水産資源研究所 ・NOAA(アメリカ海洋大気庁) ・WHO(世界保健機関) ・国際連合社会経済局                         |
|                                          | ・JAXA(宇宙航空研究開発機構) ・国際航空株式会社 ・USGS(アメリカ地質調査所) ・エコノミスト・インテリジェンス・ユニット ・株式会社ウェザーニューズ     |

### 環境学習プラザ「アスエコ」

〒700-0907 岡山市北区下石井1丁目2番1号 イオンモール岡山6F

営業時間／10:00～19:00 (火曜日休館)

<問い合わせ先> ☎ 086-230-1333



## プレゼントがもらえる アンケート実施中！

あなたの声を誌面づくりに活かします。  
簡単な約1～2分のアンケートです！  
ぜひご協力ください。

QRコードから  
今すぐ回答！



### QUOカード (抽選)

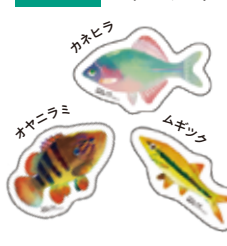
QUOカード  
(1,000円分×5名様)を  
抽選で進呈。



### 答えるだけでうれしい特典！

#### ガチャガチャ 特典

※写真は  
イメージです



アンケート回答画面提示で、  
「アスエコ(イオンモール岡山6F)」にて  
ガチャガチャコインを1枚進呈。



回答  
期限 2026  
10/31

ご当選者様には、11月下旬までに事務局から  
当選通知メールをお送りいたします。

# 環境

みんなではじめる  
岡山のエコマガジン

2026  
Autumn

Vol.

405



自然共生サイトに認定！  
岡山県自然保護センター  
生物多様性保全・自然環境保全の  
推進に関する連携

#### エコアクション21

EA21の取り組みで逆境に打ち勝つ  
環境経営・健康経営で成長企業に  
常磐植物化学研究所

#### NEXT STEP

ブランディング発想で仕掛ける  
大学発・実力派「IPUジビエ」  
IPU環太平洋大学

#### TOPICS

日本初記録の「蛾」が見つかりました！  
「おかやまSDGsフェア2026」へ出展！

自然いっぱい！イベントいっぱい！

自然保護センターへ  
来てみられえ！

アスエコへ行こう！

デジタル地球儀スフィアで  
学ぼう環境・SDGs

自然共生サイトに認定！

里山生態系の宝庫

# 岡山県自然保護センター

## 岡山県自然保護センター

緑にあふれ野鳥の声が響く和気町の森で、自然への理解と自然の保護についての認識を高めるため、平成3年11月に県が設置した自然保護・学習施設で岡山県環境保全事業団が指定管理者として管理運営しています。

｜ 活動内容 ｜



普及啓発



人材育成



調査研究



情報の  
収集、提供



傷病野生鳥獣の  
保護



タンチョウの  
飼育



### 多種多様な生き物



キビタキ



デンジソウ



トキソウとハッチョウトンボ

### イベント・企画展示



田植えの様子



自然観察会の様子

国の天然記念物に指定

## タンチョウ

当センターでは日本屈指の飼育数を誇ります。

## 自然共生サイトとは？

世界的な取り組みである「30by30目標」(※1)を達成するため、生物多様性が保たれている地域や、企業・地域・団体・個人などが保全活動を行っている地域であることを国(※2)が認定する「自然共生サイト」制度。当センターは令和7年9月16日に認定を受けました。 ※1 2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標。 ※2 環境大臣、農林水産大臣、国土交通大臣が認定。



自然保護センターが認められた **大切な役割**



里地里山に特徴的な  
生態系が残る場所



観察会や自然体験等の生態系  
サービスが提供されている場所



希少な動植物が生息・  
生育している場所

美しく奥深い自然に触れ、学び、理解を深めることのできる  
当センターへぜひお越しください！

岡山県自然保護センター

〒709-0524 和気郡和気町田賀730  
TEL: 0869-88-1190

岡山県自然保護センター

<https://okayama-shizenhogo-c.jp/>  
WEB サイトでは  
観察会や体験イベントなどの情報も！



地域と一緒に自然を守る

# 生物多様性保全・自然環境保全の 推進に関する連携



岡山市  
OKAYAMA CITY



新見市  
NIIMI CITY



公益財団法人  
岡山県環境保全事業団

豊かな自然環境を守り、地域の生物多様性を保全するために、岡山県環境保全事業団は岡山市・新見市と連携協定を締結しています。  
この協定に基づき、調査・情報共有・普及啓発など、幅広く連携・協力して取り組んでいます。

## 協定に基づく主な取り組み

### 01 自然環境モニタリング



岡山市  
OKAYAMA CITY

(令和4～7年度18か所で実施)

“重要生態系”の内、動植物のデータが不足している地域における動植物の現況把握のため、岡山市内の対象地域で調査を実施しました。



向小串の海岸  
(阿津・小串の樹林)



日近川



大井宮山地域

|         |               |           |
|---------|---------------|-----------|
| 動物      | 1,272種        | 合計 2,148種 |
| 植物      | 876種          |           |
| 絶滅危惧種など | 動物 61種 植物 17種 |           |
| 特定外来生物  | 動物 7種 植物 2種   |           |
| 岡山県未記録種 | 動物 55種        |           |



準絶滅  
危惧  
岡山県・環境省

トノサマガエル



準絶滅  
危惧  
岡山県

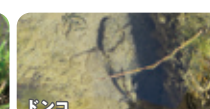
ハマゴウ



ヤマガラ



ニホンカナヘビ



ドンコ



アゲハ



アメリカザリガニ  
(条件付特定外来生物)



ニガナ



新見市  
NIIMI CITY

(令和7年度6か所で実施)

特定外来動植物の排除や特別天然記念物を含む動植物の保全、データの蓄積に向けて、新見市内の6地域で調査を実施しました。



三室峡



大佐山 (山頂付近)



草間台エコミュージアム周辺

|         |               |           |
|---------|---------------|-----------|
| 動物      | 611種          | 合計 1,238種 |
| 植物      | 627種          |           |
| 絶滅危惧種など | 動物 19種 植物 21種 |           |
| 特定外来生物  | 植物 1種         |           |
| 岡山県未記録種 | 動物 11種        |           |



絶滅危惧  
II類  
岡山県

モリアオガエル



準絶滅  
危惧  
環境省

アデツマンサケ



ムササビ



エゾツユムシ



エゾビタキ



ヤマカガシ



ツルニシジミ



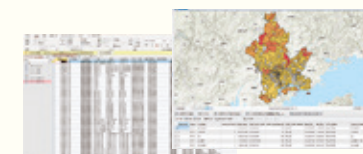
カワヨシノボリ

今後も両市で調査を続けていく予定です。

### 02 野生生物情報の相互共有

データの  
充実・整理

普及啓発や  
教育活動に  
活用



### 03 自然観察会などの 企画・運営

地域への普及啓発



豊かな自然環境を守り、地域の生物多様性を保全するには、  
多くの人が身近な自然を知り、その重要性を知ることが大切です。



## 成長企業に 環境経営・健康経営で 逆境に打ち勝つ EA21の取り組みで

エコアクション21オブザイヤー2025  
2年連続で2部門でW受賞!!

### ーエコアクション21(以下EA21)に 取り組んだきっかけを教えてください。

当社は機能性表示食品など幅広く手がけ、一時期は売上40億円を超える会社に。しかし徐々に競争力を失っていきました。私が入社した2007年に経営再建を開始し、先代から環境経営を提案されたことが認証を目指すきっかけでした。最初の仕事として、ごみの整理や事業所の美化、省エネによる経費削減、CO<sub>2</sub>排出量管理などを実践し、2年かけて取得しました。

### ー EA21に取り組んで、良かったと思うことは?

当時は自社が何をどれだけ排出しているのか全く分からない状況でしたが、審査員から環境省の資料の活用方法や、算出係数などについて指導してもらいました。それまでは複雑で認識が曖昧だった各種データが、明確に分かる状態へと変化。この手応えを起点に、環境経営の資格「GX検定 ベーシック」の取得に自主的に挑戦する動きがメンバーの中に生まれました。取得のために体系的な勉強を重ねたことで、環境活動の行動の標準化(仕組み化)がスムーズに。上からの指示を待たず自ら提案・実行する組織に成長しています。この積み重ねが2025年の「環境大臣賞(金賞)」受賞へと繋がり、メンバーにとって最高の誇りになっています。



お話を聞きしたのは

常磐植物化学研究所

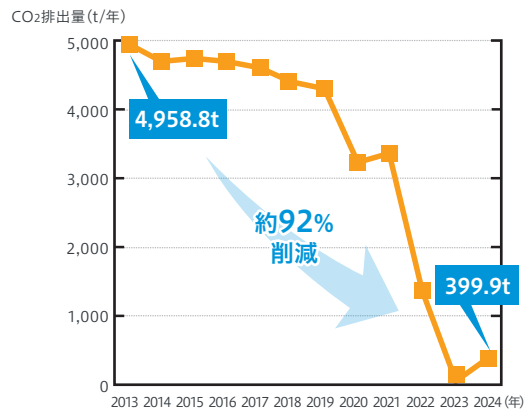
代表取締役社長

たつぎき じん  
立崎 仁さん

経営企画室  
顧問

まるやま としあき  
丸山 敏明さん

### ▶ CO<sub>2</sub>実質排出量



設備投資と省エネの推進でCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減

### ー経営面でメリットを感じていることがあれば教えてください。

EA21を通じて環境データを長年蓄積していたからこそ、日本格付研究所からの『ボジティブインパクト評価』の取得や、ESG社債・ESGファイナンス(低金利等の優遇融資)による資金調達基盤を構築することができました。若手採用時の内定承諾率アップも効果の一つ。近年は環境活動に関心を持つ学生が増え、当社の方針に共感して集まっています。

### ー効果のあった取り組みは何ですか?

照明のLED化や電動フォークリフトへの更新といった「省エネ(消費電力の削減)」と、太陽光パネルの設置による「購入電力の削減」など、計画的な設備投資がコスト削減に直結しています。さらに、カーボンニュートラルへの取り組みとして再エネ電気の導入も効果を上げています。これらの推進により、2024年には2013年比でCO<sub>2</sub>実質排出量を約92%削減しました。本年3月には「sakuraヘルシーテラス」の給湯設備を電化し、併せて太陽光設備も新設して、更なる削減を目指しています。

### ー社員食堂や運動スペースなどがある「sakuraヘルシーテラス」の開設をはじめ、社員の健康を重視した取り組みをされています。その背景は?

コロナ禍がきっかけです。職域接種や感



太陽光発電設備を段階的に導入しています



社員が健康的なランチを楽しめる「sakuraヘルシーテラス」

染対策、健康食品や地元食材の配布など社員のためになることを実行しました。社員の健康づくりは企業の基盤となる大切な土台です。その上で企業価値を創出するという信念のもと、投資しています。結果として健康経営優良法人の認定も受けました。

### ーこれからEA21に取り組む企業にメッセージを。

EA21には「EA21オブザイヤー」や、6年での「永年継続事業者への感謝状贈呈」など実績を称賛する文化があり、社員のモチベーション向上に繋がっています。EA21の活動を行う各企業の事例を学ぶこともでき、一つのコミュニティとして共に成長していける点が魅力的ですので、ぜひ検討してみてください。

### 株式会社常磐植物化学研究所

所在地 〒285-0801 千葉県佐倉市木野子158番地  
従業員数 170名 認証・登録日 2009年7月

植物由来の有効成分を使った機能性表示食品やサプリメントの原料、医薬品原薬などを製造・販売している。

【エコアクション21】環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。エコアクション21  
【エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団】  
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1  
Tel 086-298-1239 Fax 086-298-2496  
Mail ea21@kankyo.or.jp https://www.kankyo.or.jp  
Facebook https://www.facebook.com/ecoaction21/

次の世代に続く  
エコロジーな活動

NEXT  
STEP

2021年に始動してからというもの、ブランディング手法としてもSDGsのアプローチとしても高い評価を受け、数々の賞を受けているIPUジビエプロジェクト。岡山県でも被害が深刻化している害獣、イノシシやシカの命を余すことなくアップサイクルする取組です。プロジェクトを主導する特任准教授、扇野睦巳さんをキャンパスに訪ねました。

### 駆除される「命」に向き合う

扇野さんのブランド戦略論の授業では、社会問題の解決、人や環境への貢献を目標として研究テーマを選びます。扇野さんが着任した初年度の2021年、学生の一人がやってみたいと選んだのがジビエでした。調べてみると、岡山市だけでも年間約4000頭のイノシシが焼却されている実情がありました。そこで、野生動物の解体業などを営む同大学の卒業生の会社を学外学習で訪れ、イノシシを捕獲する罠とシカの解体を見学。人間の生活のために駆除された命を目の当たりにした学生たちから、ジビエ商品の開発や、皮や骨などの副産物もアップサイクルできないかというアイデアが生まれたのです。

### 産官学の サプライチェーンを構築

地元では、ジビエといえば意識の高い人が選ぶ高級料理というイメージがありました。授業を通じて初めてイノシシやシカを食べた学生も多かったそうですが、適切に処理された肉は柔らかく臭み



アップサイクルにコースターやカップスリーブを選んだのは小さい個体も生かすため。皮革製品の老舗二宮五郎商店のロゴも入っている。

## ブランディング発想で仕掛ける 大学発・実力派「IPUジビエ」

IPU環太平洋大学経済経営学部 現代経営学科 特任准教授 おおぎの むつみ  
扇野 睦巳さん



ジビエ井キッチンカーはオープンキャンパスなどでも出動。仕入れ、調理、接客などを経験する中で、自分でも気づかなかった得意分野に気づく学生も多いそう。

ありません。ブランド構築にあたり、まず念頭に置いたのがこの美味しさを伝えることでした。「ここで学生の熱意や『手作り感』だけを前面に出してしまうと、一過性のボランティア活動で終わってしまいがちです。市場に受け入れられる『グルメ』として自立させるなら、何よりも美味しいことが大前提なんです」。美味しさで勝負できるものを創るため、地元の製麺会社やジビエ料理の専門家など、扇野さん自身の人脈も駆使して産官学の連携を構築。イノシシの骨で出汁をとり、イノシシ肉の乗ったジビエラーメンの試食会を皮切りに、カレーパン、パスタと商品開発を重ねました。また、農林水産省中国四国農政局と連携し、ジビエフェアを開催。キッチンカーで提供したジビエ井は毎回好評で、地域との交流も少しずつ深まりつつあります。

皮革では獣皮を地域で活用する「MATAGIプロジェクト」と連携。エシカルレザーとしてなめした革を東京・墨田区の老舗の名店に扇野さん自身が通い詰め、

加工を依頼。カップスリーブやコースターとして商品化しました。

### 地域の皆様のおかげで 持続可能なプロジェクトに

扇野さんは計画段階に細かく目配りし、準備を整えたうえで、学生たちの実践を支えながらプロジェクトを牽引してきました。キッチンカーでは毎回売上で終えられるようジビエフェアやオープンキャンパスなど競合の少ない場を選び、100食分をスムーズに提供できるオペレーションを通じて、生産性向上を身に着けます。「1つのアイデアが何をどうやって、どことつながれば実現できるのか、その過程を学生たちがひと通り経験することが学びです。」それが社会に出たときにきっと生きてくる、と目を細める扇野さん。多くの方のご協力の元で育ってきたIPUジビエは今や大学の看板プロジェクトとして、現在はデニムとのコラボが進行中です。今後は宇宙食にも挑戦するそうで、実現のニュースを耳にする日は遠くないかもしれません。

### company data

### IPU 環太平洋大学 サステナブルブランドプロジェクト (扇野ゼミ)

〒709-0863  
岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721  
フィロソフィア棟 扇野研究室  
090-4808-5181



毎回好評のジビエ井は誰もが好きな甘辛味。1時間で100食を売り上げた日もあるそう。

# 話題のエコニュース！ TOPICS

TOPICS THEMA

岡山県環境保全事業団 環境調査分析部

- 日本初記録<sup>※</sup>の「蛾」が見つかりました！
- 「おかやまSDGsフェア2026」へ出展！



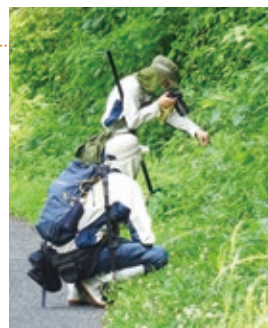
## 新種&日本初記録の「蛾」を発見！

環境調査分析部では、生物多様性の保全等を推進していくため、岡山市、新見市との連携協定に従い様々な調査を行っています。また、企業などからのご依頼や独自の調査等を通じて、岡山県内全域の動物や植物などに関するデータの蓄積も行っています。

私たちが県内の自然環境の調査を行っていく中で、令和4年に新種の蛾である「シロオビシダマイコガ」を、また令和6年には日本初記録の蛾である「マキエツツミノガ」を発見しました。

令和7年にも日本初記録の蛾である「ウスコウツツミノガ」を発見することができました。

※日本初記録…これまでに国内で生息や分布が確認されていなかった種が、学術的に初めて発見・報告される事例



シロオビシダマイコガ

〔令和6年2月学術誌掲載〕



マキエツツミノガ

〔令和7年10月学術誌掲載〕



ウスコウツツミノガ

〔令和8年7月学術誌掲載〕



環境調査課  
寺田 剛

地域の生物多様性を保全するためには、身近な自然の大切さを知っていただくことが重要です。今回の発見がそのきっかけとなり、県内における保全活動が一層活発になることを期待しています。

## 「おかやまSDGsフェア2026」へ出展！

8月5日～6日にかけて、岡山コンベンションセンターで開催された「おかやまSDGsフェア2026」にブース出展しました。

生物多様性の保全は、事業団の事業領域である「自然共生社会の形成」に密接に関連するテーマでもあることから、生き物やパネル展示などを行い、来場者の皆様に学びの場を提供するとともに、事業団が推進するSDGsに関する様々な活動を紹介しました。



昆虫の標本も  
展示しました！

ブースに来た方に  
特製エコバッグを  
お渡ししました！



来館者の声

おかやまのめずらしい  
植物、動物、生物を教え  
ていただきました。

昆虫標本が興味深く  
わくわくしました。アス  
エコにまた行きます。

生き物の住みやすい環境  
を作るため、今後も幅広  
く活動してほしいです。

皆さんからたくさん  
お声がけをいただきました。  
ご来場ありがとうございました！

分析のご依頼はWEBで確認！

岡山県環境保全事業団 分析

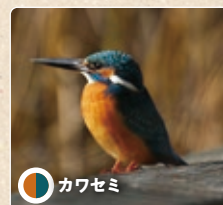


環境調査分析部 〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1

☎086-298-2616 FAX.086-298-2617 MAIL.mado@kankyo.or.jp

# 自然保護センターへ 来てみられえ～

9月～11月のセンターで見られる自然を見つけに行こう！



カワセミ



ミズアオイ



イロハモミジ



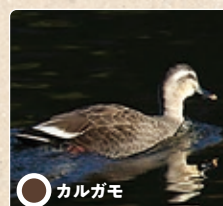
キタキチョウ



キトンボ



ナンバンギセル



カルガモ



アキグミ



コシオガマ



ハラビロカマキリ



ピッチュウフウロ



マキエハギ



マユタテアカネ

イベント  
レポート

## 田んぼの生きもの観察会を開催しました。

「こんなに間近でたくさんの生きものが見られるとは思わなかった。」

参加者からこんな感想が寄せられたのは、水田ビオトープで開催した生きものの観察会です。講師は動物調査の専門家、事業団職員の香川駿介氏。小さなお子さんの参加が多いなか、みんなルールを守って水辺の生きものを捕まえることができました。アカハライモリやカエルの仲間をはじめ、ドジョウ、ヤゴ、サワガニなど、観察できた生きものは実にさまざま。講師の丁寧な説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



## 秋の観察会案内

時 間 10:00～12:00(9:50集合)

集合場所 センター棟他

参加方法 要予約 / どなたでも参加OK

季節のさまざまな生きものを観察する、「自然観察会」を開催！



赤とんぼを探そう

トンボの見分け方などを学ぼう。



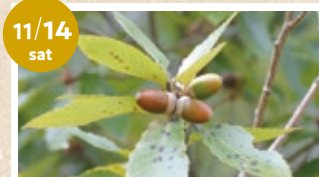
カマキリ見つけ隊！

色々なカマキリを見つけて、見分け方と  
いっしょに驚きの話も聞こう！



紅葉観察会

秋に紅葉する植物について学ぼう。  
※小雨決行



どんぐりと果実

秋の実りを観察しながら、鳥など動物と  
の関係も考えてみよう。



池のまわりの野鳥観察会

センター棟前の上池周辺で身近な野鳥を  
観察しよう。カルガモ、エナガなど。  
※雨天中止

☎0869-88-1190 〒709-0524 和気郡和気町田賀730

岡山県自然保護センター

休所日／毎週火曜日(祝日除く)、祝日の翌日(土・日・祝日除く)、年末年始(12/28-1/4)

開所時間／9:00～16:30 入場料／無料

その他イベント情報はWEBをチェック！

岡山県自然保護センター

https://okayama-shizenhogo-c.jp/



岡山県環境保全事業団は、岡山県より、令和7年4月1日から令和12年3月31日の期間、岡山県自然保護センターの指定管理者に指定されました。